

APECエネルギー・運輸大臣への書簡

2011年8月25日

APEC エネルギー・運輸合同大臣会合共同議長
アメリカ合衆国 エネルギー長官
スティーブン・チュー閣下

APEC エネルギー・運輸合同大臣会合共同議長
アメリカ合衆国 運輸長官
レイ・ラフード 閣下

拝啓 両長官閣下、

ABACは、初めてのAPECエネルギー・運輸合同大臣会合をこの9月にサンフランシスコで開催する計画を歓迎します。我々は、これはエネルギー安全保障と気候変動に関するより幅広い議論のための重要なステップであると信じます。ABACは来るエネルギーと輸送に関する官民対話に参加し、エネルギー安全保障に関する提言を共有する機会に大きな期待を寄せています。

APEC地域の今後のエネルギー需要に見合うだけの資本をひきつけるため、ABACは安定的な財政制度構築を促進する規制・投資・法的枠組み、および民間部門の投資と行動を促進する、透明性が高く安定的で平等な法制度の整備を求めます。ビジネス界は入手可能で持続性のあるエネルギー供給の確保に不変の関心があり、極めて重要なエネルギー安全保障の目標の達成のためにセクター別アプローチが力強い役割を果たしていることを認識しています。

国際エネルギー機関によると、2008年には、運輸部門は世界の石油の61.4%、世界のガスの5.9%、世界の電気の1.6%を消費しています。世界の化石燃料への依存度が高いことは、運輸部門の状況が如実に物語っており、我々は、エネルギー源の拡充と多様化を推し進める事、エネルギー節約の推進と効率性の向上、そしてクリーン・エネルギーの使用と技術革新の推進等のための措置がとられることを求めます。

第一に、ABACは、APECエネルギー大臣が定期的に会議を開催し、民間部門からの投資と行動を呼び込むような規制・投資・法的環境を作る努力をはらうよう提言いたします。APECが測定可能な目標を含む地域・各エコノミーの統合されたエネルギー政策を内包したエネルギー安全保障の枠組みを作ろうとしている今、その目標が現実的なものであり、かつ、民間の資本、ノウハウ、活力を引き出すような政策が実行されることが重要です。運輸部門における測定可能な目標は、この枠組みの中で検討されなければなりません。

第二に、エネルギー価格は長期的にはエネルギーの生産、採掘、流通のコストを反映すべきです。多くの国においてエネルギー消費に補助金が出されていますが、その結果、市場は、エネルギー効率の高い製品に対する消費者の行動という点においても、民間部門からクリーン・エネルギーや低エネルギーインフラの開発投資を呼び込む点においても、本来あるべきほどには効率的に作用していません。については、APEC各エコノミーは、下記を進めるべきです。

** 需要を歪め、エネルギー消費を削減する政策に反するような化石燃料への非効率的な補助金を廃止すべきです。化石燃料への非効率的な補助金の合理化・廃止についてのAPEC首脳によるコミットメントは賞賛に値します。APECは、徐々に化石燃料への補助金を廃止すべく、行程表を作成し、中間指標と最終目標を定めるべきです。運輸部門は石油への依存度が非常に高いことから、APECエネルギー・運輸大臣は、バイオ燃料、電気、天然ガス、太陽光、バイオマス・水素といった代替エネルギー源を輸送に広めていく努力を加速すべきです。*

* 関税・非関税障壁を撤廃し、低炭素技術やその他環境物品・サービスに関する知的財産権 (IPR) 保護を強化すべきです: 関税・非関税障壁の撤廃は、採用コストを引き下げ、IPR 保護の強化は運輸部門において用いられる新たなエネルギー効率の高い低炭素技術の商業化と普及を促進します。これらのエネルギー効率の高い選択肢の利用可能性と値ごろ感を高めることは、消費者と産業界の行動の変化を促します。

我々は、一連の会議が生産性の高いものとなるよう願うとともに、サンフランシスコにてこれらについて議論できることを楽しみにしております。

敬具